

〈見たぞ〜!〉



畑から帰って家に入ろうとしたとき、「ピーヨ！」と甲高い声と共にヒヨドリが柿の木にとまった。狙いはキンカンだ。直にキンカンの木には行かず、まずは様子を見る。安全だと思ったら食べに行く。年末あたりから毎日食べに来ているので、今まで一体どれくらい食べたことか！初めの頃は丸ごと一個啜えて別の場所で食べていたのだが、今日は木になっているままのものをつついて。多分、この方が自分で押

える必要がないので食べやすいことを学んだのだ。上から横から下からと、いろいろな方角からつついて少しずつ柔らかい果肉部分にたどり着き甘い汁を吸い取っている。ずっと見張っているわけではないのでどの程度の頻度で来るのかは分からないが、木のそばに行くと大概は驚いて飛び出す。こちらも負けずに2個3個と口に頬張るが、それ以上はならない。食べに来るのは1羽や2羽ではないので、絶対量からしたら断然彼らの方が多い。



木は2本あるので、まだまだ実は十分にある。去年はヒヨドリが食べ飽きたころジャムにしたが、今年もそろそろそんな時期になった。小さいキンカンをジャムにするにはとっても面倒だが、その面倒な分だけできたジャムは美味しい。そろそろヒヨドリたちにはお暇願って、ジャム用のキンカンを収穫しようかな。

